

脳死下臓器提供に関する検証資料フォーマット1:「治療経過」～「脳死とされうる状態の診断」

施設名	患者イニシャル	生年月日	年齢(歳)	性別	記載責任者	記載年月日	診断名
日本医科大学付属病院	●●	平成〇年〇月〇日	46	男性	横田裕行	2020/5/5	急性硬膜下血腫 別項1a
<b>治療経過</b>							
救急隊対応 ↓ / ドクターか →		有	救急外来あるいは一般病室入院時				集中治療部門
覚知 現着		現発	入室およびその後(状態変化時等)				救命困難と判断した経過と根拠
時間	月日	2019年 12月 29日(～月日)	2019年 12月 29日(～月日)	入室 2019年 12月 29日	年 月 日		
	時分	13時 10分	13時 15分	13時 35分	入室 16時 14分		
病歴		病歴・病院前対応 別項1a, b					
バイタルサイン	ECG波形	洞性頻脈	洞性頻脈	洞性頻脈			
	血圧 収縮/拡張 mmHg	185 / 98	166 / 92	166 / 92			
	心拍数/分	112	98	98			
	呼吸数/分	20	14	自発呼吸あり	0	自発呼吸なし	0
	体温(測定部位 / °C)	腋窩 36.2	腋窩 36	膀胱 36.1	膀胱 35.8		
意識	JCS	100	200	300			
	GCS	E( 1 ) V( 2 ) M( 5 )	E( 4 ) V( 5 ) M( 5 )	E( 1 ) V( T ) M( 1 )			
瞳孔	右径・反射	( 5 ) mm	緩慢	( 3 ) mm	消失	( 3 ) mm	消失
	左径・反射	( 2.5 ) mm	緩慢	( 3 ) mm	消失	( 3 ) mm	消失
頭蓋内圧測定				初圧 : 16mmHg (脳灌流圧 mmHg)			
有				最高値: 45mmHg (脳灌流圧 mmHg)			
血液検査		添付資料検査値1(以下を含めて時系列印刷)		月 日 添付資料検査値2	添付資料検査値3		
画像検査	CT/MRI		年 月 日 時 分	年 月 日 時 分	年 月 日 時 分		
			正中線構造が5mm以上偏倚した左急性硬膜下血腫、左前頭葉挫傷(別項2と重複)。	所見: 反衝損傷の左側頭葉挫傷とそれによる脳浮腫が増大	別項3	別項4	
	その他の画像検査		年 月 日 時 分	年 月 日 時 分	年 月 日 時 分		
	添付資料		所見 別項2	所見 別項3	別項3	別項4	
合併症	尿崩症		添付資料画像1	月 日 添付資料画像2	添付資料画像3		
	肺炎			年 月 日から	年 月 日まで	継続	
				年 月 日から	年 月 日まで		
				年 月 日から	年 月 日まで		
処置・治療	酸素(%)	100%	100%	50%	50%		
	気道確保法	自然気道	気管挿管	気管挿管	気管切開		
	除細動	0回	0回	0回			
	心肺蘇生術	無	無	無			
	輸血	無	無	無	無	無	
	薬剤	アドレナリン( 0 )A	アドレナリン( 0 )A	昇圧剤その他 別項5a、脳死判定に影響を与える薬剤 別項5b			
	手術		1回目 開始日時 年 12月 29日 14時 00分	2回目 ●●年 1月 1日 14時 00分			
			別項3	術式 ( 左減圧開頭、外減圧 ) 別項3			
	体温管理療法			開始: ●●年 12月 29日 18 時 00分 目標 34°C			
				復温: ●●年 12月 30日 18 時 00分 目標 36°C			
	過換気療法			開始: 年 月 日 時 分			
				終了: 年 月 日 時 分			
	その他の治療( )			開始: 年 月 日 時 分			
	無			終了: 年 月 日 時 分			
家族への説明		添付資料4 診療録コピー					
治療方針とその根拠		初期治療の概要・方針・根拠 別項2		集中治療期間の治療概要 別項3		方針変更と根拠・その後の治療概要 別項4	

直接記載(必須)	資料添付
直接記載(実施時)	Format 2 別項記載
プルダウン選択または直接記入	
<b>脳死とされうる状態の診断</b>	
開始時刻	2020/1/3 11:41
終了時刻	2020/1/3 14:52
血圧 収縮/拡張	117 mmHg/82 mmHg
心拍数	106 回/分
体温(測定部位)	38.5°C(膀胱)
JCS	300
GCS	3
脳幹反射	右 左
瞳孔径 (mm)	( 6 )mm ( 6 )mm
瞳孔対光反射	無 無
角膜反射	無 無
毛様脊髄反射	無 無
眼球頭反射	無 無
前庭反射	無 無
咽頭反射	無 無
咳反射	無
脳波記録日時(開始～終了)	2020/1/3 11:41 ~ 12:20
呼名刺激/疼痛刺激	有 有
平坦脳波	確認
聴性脳幹反応第II波以降消失	確認
人工呼吸の継続時間(日:時間:分)	
人工呼吸開始:	2019/12/29 14:00
脳死とされうる状態診断確定まで	04:21:41
深昏睡持続時間(日:時間:分)	
深昏睡確認時刻:	2019/12/29 14:00
脳死とされうる状態診断確定まで	04:21:41
添付資料検査値5 脳波・聴性脳幹反応などの記録	
脳死判定に影響する代謝内分泌障害	無
血中、尿中薬物スクリーニング	無
方法	法
サンプル	
検査日時:	年 月 日 時 分
検査結果の概要	
別項6	
※ 追加情報については適宜別項6に記載。	

脳死下臓器提供に関する検証資料フォーマット2:別項1~6

別項 1a	主たる病因と病名	外因	急性硬膜下血腫	脳挫傷			
	脳死に至った病態の経緯	頭部打撲→硬膜下血腫→脳ヘルニア→脳死					
現病歴・病院前対応	救急隊到着まで	オートバイで単独走行中、電柱と衝突した。目撃した通行人が同時に救急車を要請。救急車とA病院のドクターカー出動を指示。救急隊が先着した。					
	現場での状態・活動	頭部を含めた全身打撲、JCS200、13時15分にドクターカーが到着し、同乗の医師が処置実施、B病院へ搬送。					
別項 1b	既往歴	年月	診断	入院/通院	入(通)院期間	手術	
		1	2008年3月	右大腿骨骨折	入院	約2週間	
		2					
		3					
別項 2	救急外来あるいは一般病室 入院時	救急外来治療の概要	頭部以外の体幹・四肢には損傷なし。バイタルサインを安定化後、13:45頭部および全身CTを施行。				
		CT所見追加	正中線構造が5mm以上偏倚した左急性硬膜下血腫、左前頭葉挫傷				
		他の画像( )追加					
		治療方針と根拠	脳ヘルニア兆候を認めたため救命目的に開頭術の方針とした。				
別項 3	集中治療期間 (入室およびその後)	手術1所見追加	止血に難済したが、方針通りに実施できた。				
		手術2所見追加	高度な脳腫脹を認めた				
		入室後初回CT所見追加	反衝損傷の左側頭葉挫傷とそれによる脳浮腫が増大(○日○:○○)				
		他の画像( )追加					
		治療の概要	入院治療による改善なし。2度の開頭術後も頭蓋内圧のコントロールは困難。				
別項 4	救命困難の判断以降	CT所見の追加					
		他の画像( )追加					
		治療の概要					
		治療方針変更の概要と根拠	2回目の開頭術後も頭蓋内圧が上昇し、入院当日夜に突然血圧が低下したため、鎮静剤、筋弛緩剤等を中止し、ノルアドレナリンで血圧を維持。その後も神経学的所見に変化なく、脳死とされる状態の判断に至った。				
別項 5a	昇圧剤・高浸透圧治療剤・抗利尿ホルモン等	目的	開始時刻	終了時刻	投与量		
	マンニトール(ml/日)	抗浮腫	2020/1/1 13:15	2020/1/1 20:00	900		
	ノルアドレナリン(μg/Kg/分)	昇圧	2020/1/2 20:05	継続	0.03~0.05		
別項 5b	脳死判定に影響を与える薬剤	目的	開始時刻	終了時刻	投与量	脳死とされる診断開始	投与終了～診断開始
			西暦/月/日 時:分	西暦/月/日 時:分		西暦/月/日 時:分	日数:時間数:分
		プロポフォール(ml/時)	鎮静	2020/1/1 13:15		8~10	2020/1/3 11:41
		フェンタニル(μg/時)	鎮痛	2020/1/1 13:15		20	01:15:41
		ベクロニウム(mg/時)	筋弛緩	2020/1/1 13:15		10	01:22:26
別項 6	追加情報記載欄 (虐待の有無の確認)						